

## 大学院政策・メディア研究科の研究・教育ビジョン： 複合的な課題に向き合い、能動的に関わる

慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科委員長 加藤 文俊

### <大学院政策・メディア研究科の研究・教育ビジョン>

政策・メディア研究科修士課程は、分野横断的な視野をもち、専門知識と実践的な能力を身につけた人材の育成を目指して、1994年に開設されました。その後、1996年には後期博士課程が併設されています。政策・メディア研究科は、テクノロジーを前提とした社会における先端的研究の実践、従来の学問分野を融合または超越した研究分野の確立、産官学の国内外を問わない共同研究体制の整備を推進してきました。すでに、数多くの卒業生たちが、研究・教育分野はもとより、国内外の社会、経済、政策、産業分野などで活躍し、多大な貢献をしています。

創設から四半世紀の歴史を経て、政策・メディア研究科は、さらなる変化の時を迎えています。この30年間で、デジタルテクノロジーが私たちの日常生活のさまざまな場面にとけ込むようになり、時間や空間の理解、つまりは人と人との関係のありようも大きく変容しました。一連の変化は、私たちの移動性を高め、これまでには想像できなかったスケールやスピードで、さまざまな「越境」を促します。その影響もあって、多様な価値観は、協調し併存しながらも、ときには競合し衝突も起きます。こんどは、私たちが慣れ親しんできたさまざまな仕組みや制度そのものが、幾重もの「境界」の存在をあらためて主張します。

政治・経済の情勢が絶えず移りゆくなか、大規模な自然災害や事故などにも直面し、私たちは、取り組むべき課題がますます多様化・複雑化していることを実感するようになりました。政策・メディア研究科は、創設時から、分野横断的な課題に向き合うことを標榜し、つねに社会との接点を持ちながら研究・教育を遂行してきました。その成果は、学術的な文脈にとどまることなく、人びとが暮らす現場へと届けることを目指すものです。課題解決は、容易ではありません。私たちは、長きにわたって、課題とともに生きる。そして、その間に環境も私たち自身も絶えず変化する。「政策・メディア」は、その動きを一体的にとらえるための概念だと理解することができるでしょう。

### <複合的な課題に向き合うアカデミックプロジェクト (AP) >

分野横断的な思考力と行動力を育むための指導體制が「アカデミックプロジェクト」です。「アカデミックプロジェクト」は、従来の講義だけでなく、現場に能動的に関わりながら学ぶ機会として、専門領域の異なる複数の教員メンバーによって編成されます。「アカデミックプロジェクト」では、実践を通して目の前の課題を多面的に理解し、提言や制作、実装といった形で成果を社会に還元することが求められます。国内外の大学・研究機関等との連携による研究・教育、国内外でのフィールドワークやインターンシップを積極的に推奨し、ユニークかつ有意義な大学院研究・教育の実現を目指しています。

### <研究領域と研究支援制度>

本研究科では、研究・教育を支援するために、8つの研究領域（プログラム）を設定し、それぞれの領域の専門研究・教育により、専門領域の学術・実践力を備えた人材の育成を目指しています。学生・教員は、固定的な研究領域に留まることなく、上述のアカデミックプロジェクト (AP) を介して、専門領域を横断し、複合的な課題に取り組むことができます。

さらに本研究科では、社会に開かれた、より国際的な連携をもつ大学院をめざし、2005年度以降は修士課程に海外の大学院との〈ダブルディグリー制度〉を設置するとともに、後期博士課程に社会人を対象とした〈社会人コース〉を開設しました。2006年度以降は修士課程に英語による講義やプロジェクト科目を提供する〈国際コース〉を開設しました。現在、本研究科には100名以上の留学生在籍しています。

また、本研究科では、入学者に対する奨学制度「ヤングリーダー奨学金」「GAO スカラシップ」「研究のすすめ奨学金」や「森泰吉郎記念研究振興基金」など、研究科独自の研究支援体制が充実しています。研究・教育を支える環境としては、遠隔授業設備、キャンパス無線LAN、超高速バックボーン、ドローン実験、ファブリケーション実験、ロボティクス実験、スマート・シティ実験、データベース実験、GIS（地理情報システム）実験環境など、先端的なインフラストラクチャが整備されています。

### <社会ニーズに応えるプロフェッショナル育成コース (PC) >

社会環境の変化に伴って生まれて来た新しいニーズに的確に対応するため、プロフェッショナル育成コース (PC) として、「環境イノベータ (EI) コース」、「社会イノベータ (SI) コース」、「グローバル環境システムリーダー (GESL) コース」※、「イノベータティブ・フューチャー・ストラテジスト (IFRS) コース」、「サイバーセキュリティ (CS) コース」が設置されています。これらのプロフェッショナル育成コースには、それぞれが目指すプロフェッショナルキャリアに相応しいカリキュラムが用意されており、修了時には修士号あるいは博士号とともに、「サティフィケート (修了証)」が授与されます。

政策・メディア研究科は、「実験する精神」を大切にしながら、つねに新しい研究分野の開拓を目指しています。また、社会人を対象とした生涯研究・教育の場の構成、国際的研究・教育機会の拡大（新たな奨学制度の活用、国際インターンシップ、および、海外研究者・学生の受け入れ機会）を進めており、それらの実現に向けて前進しています。本研究科での学修が、皆さんにとって充実したものとなることを期待しています。

※「グローバル環境システムリーダー (GESL) コース」は現在、新規履修者募集を行っておりません。